

より ゆたかに
より かしく
より たくましく
ぐー・ちよぎ・ぱー

田浦の風

田浦小学校だより
⑫ 令和3年
3月19日(金)
発行者
校長 百原健博

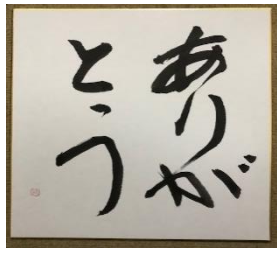
新立航大さん、講話

3月10日(水)に車椅子の書道家・墨人の新立航大さんにおいでいただき、4年生、5年生、6年生にお話をいただきました。新立さんは、私が水俣第一中学校に勤務していた15年前の生徒です。プロフィールには、「6歳から新体操をはじめ、中学時代には全国4位の成績を残した。しかし、中学3年の時の練習中、頸椎を損傷する大怪我を負い、身体の大部分を動かせなくなった。」とあります。私は当時、お見舞いにも行き、様子も見ました。その時はベッドに寝たままでしたが、その後、リハビリを経て、卒業式には車いすで出席してくれました。その姿に大いに感動しました。式後、友達と一緒に車いすで下校した姿は今でも覚えています。プロフィールの続きには「できることが大きく減った中、高校の授業で出合ったのが書道。指に力が入らないためペンや鉛筆では筆圧をコントロールできず思うように書けなかったが、筆ならば手首と腕の動きで思うままに線をひき、墨の濃淡をつけることができた。」とあります。私は子どもたちに新立さんの生き方、考え方から何か学んで欲しいと思い、今回のことをお願いしたところ快諾してくれたのです。講演では、病院での様子、書道との出会い、当時思ったことをお話され、書道の実技もを見せていただきました。まとめに、心がけていることを語られました。子どもたちはお話に聞き入り、時には拍手し、最後には感想も多くの子どもたちが発表してくれました。

6年生の感想から抜粋し、ご紹介します。

永野実胡さん：(心に残ったことに)新立さんの心がけていることです。それは、「あきらめてからその先を考えること」「人への感謝を忘れないこと」「考えすぎないこと」「やりたいことはやる」です。私は、この中でも「人への感謝を忘れないこと」ができていませんでした。だからこれからは人への感謝を忘れないように心がけていきたいです。

早稲田彩弓さん：私はいつも困ったときは、友達が助けてくれるので改めて感謝を忘れないようにし



ようと思いました。また、私はやりたいことがたくさんあるので、新立さんがおっしゃったように1つずつやってみようと思いました。

竹原麻桜さん：諦めてもその先どうするか考えることです。新立さんは体が動かなくなっても動かせるところでどうするかポジティブに考えたと話されていました。私はポジティブに考えることがあるので、ポジティブな考えをしていきたいと思いました。



感謝！学校応援団

3月12日に学校応援団感謝の会を開きました。残念ながら全員をお呼びできませんでした。代表して地域応援団の**大木愛美さん**においでいただき、次のようにごあいさつしていただきました。

今日は、たくさんの地域応援団の皆さんを代表して、ご挨拶をさせていただきます。今年度は、豪雨災害やコロナウイルスの流行で大変な年でした。皆さんとの触れ合いができる学校行事のお手伝いも中止になってしまいました。地域応援団は、皆さんの笑顔を見ることが楽しみにしていただけにとても残念に思っています。学校での活動は中止になってしまいましたが、地域応援団はいつでも皆さんを応援しています。コロナウイルスが落ち着いて、また皆さんとたくさん触れ合えることを楽しみにしています。

なお、児童から学校応援団の皆様には感謝状をお送りしました。少しだけご紹介します。
○丸つけに来ていただいてありがとうございました。ぼくは、算数タイムの時に分からない所を教えてもらい、そこから分かるようになりました。
○私達が帰った後、きれいに消毒作業をしてくださり、ありがとうございました。私があいさつをしたら、元気に返してくださったことが心に残っています。お体を大事に元気にお過ごしください。
○いつもスクールバスでの送り迎え、ありがとうございます。そのおかげで、ぼく達はこうやって安全に学校に来ることができます。これからもよろしくお願いします。



一輪車、スイスイ！

退職するにあたり、子どもたちに何か記念になるものをもって一輪車を贈りました。みんなよく乗ってくれ、私よりもすぐ上手になりました。嬉しい限りです。



保護者アンケート

保護者アンケートはお世話になりました。4段階の平均値をお知らせいたします。

学校の在り方・教育活動に関すること		
1	学校は、いじめ防止について努め、適切に対応している。	3.2
2	学校は、不登校児童について、適切に対応している。	3.1
3	子どもは、学校に楽しく通っている。	3.6
4	子どもは、読書をしている。	2.7
5	教職員は、子どもが意欲的に取り組むよう工夫した授業をしている。	3.3
6	教職員は、子どもの学力向上のために取り組んでいる。	3.3
7	子どもは、家庭学習の習慣が身に付いている。	2.9
8	子どもは、地域や家庭において大きな声であいさつができています。	2.9
9	子どもは、進んで運動をしている。	2.8
10	子どもは、むし歯の治療や健康に努めている。	3.1
11	学校は、学校や子どもの様子などについて、保護者や地域に学級だより、学校だよりなどによって知らせている。	3.5
12	学校は、欠席時の対応(電話連絡や家庭訪問)、学校でのけがや体調不良の際の家庭連絡等をきめ細やかに行っている。	3.4
13	学校は、校舎や教室、グラウンドの整備をきちんと行っている。	3.4
14	教職員は、保護者や地域の方に対して電話などで丁寧な対応をしている。	3.5

「子どもが楽しく学校に通っている」「学校の様子や子どもの様子を知らせている」「職員が丁寧に接している」等のお褒めの言葉もありましたが、読書、運動、あいさつ、家庭学習の習慣化については、課題としてあげられます。

記述していただいた回答、「こんな子どもに育てほしい」という姿では、「自分の事も他の人のことも大切にする子ども」が一番多くありました。

小中合同の運動会につきましては、賛否両論、開催時期や午前中開催などのご意見もいただいています。運動会以外も貴重なご意見をいただいています。次年度に生かしたいと考えています。

4月の主な行事(計画)をお知らせします。

- 1日(木) 学年始休業日(～7日)
- 8日(木) 就任式、始業式
入学式(来賓・在校生出席なし)
- 14日(水) 避難訓練(地震・津波)
- 16日(金) 歓迎遠足
- 19日(月) 振替休業日(4月24日分)
- 23日(金) 交通安全教室
- 24日(土) 学校に行こうデー お弁当の日
授業参観 学級懇談 PTA総会
- 26日(月) 家庭訪問① 27日(火) 家庭訪問②



3・23 いよいよ卒業式

3月23日は、卒業式。思い出に残る卒業式になるように、みんなで取り組みましょう。



お世話になりました

今月号が令和2年度、最後の学校だよりとなります。学校経営の責任者として、自分なりに取り組んできたつもりですが、保護者、ご家庭、地域の皆様に温かく見守られたことに感謝しています。1年間ありがとうございました。

また、私事ながら3月末日をもって定年退職となります。(気持ちは若いのですが) 教職38年。子どもたちに教えることが好きで選んだ道です。先輩の先生に「教育は熱意・誠意・創意」「ピンチはチャンス」等の言葉をいただきながら教育活動に取り組んできましたが、逆に子どもたちに教えられ、保護者や地域の方、同僚に支えられここまで来ることができました。特に、母親も退職した田浦小学校で最後を迎えることができて本当に幸せでした。歓迎遠足の時「校長先生、手をつなぎましょう」と目的地まで一緒に手をつないでいったこと。問題を出し、「できましたよ」と見せてくれたこと、一緒に勉強したこと・遊んだこと、運動会、修学旅行、雪合戦、一輪車...思い出は尽きません。田浦の子は、素直で、どの子も愛おしいです。きっと生まれ変わっても、教員という道をまた選ぶことでしょう。学校を離れますが、子どもたちがこれからも自分らしく、生き生きと過ごせ、幸せな人生を送れますことを切に願っています。

お世話になりました。本当にありがとうございました。皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

